

東金市DX推進計画（案）についての意見募集に係る実施結果

このことについて、令和8年2月4日から3月5日までの期間において、意見募集を実施いたしました。いただいた御意見及び当該意見に対する市の考え方について、とりまとめましたので、次のとおり結果を公表します。

1 実施結果について

- ・意見提出者数 1名
- ・意見件数 4件

2 意見に対する対応について

区分内容

- A 意見の趣旨等について計画案に反映するもの（0件）
- B 意見の趣旨等がすでに計画案に盛り込まれていると考えられるもの（0件）
- C 計画案のとおりとし、今後の施策展開の参考とするもの（4件）

No	区分	いただいた意見	意見に対する市の考え方
1	C	<p>計画の基本方針（1）目的・目標 について</p> <p>この計画の最終的なゴールは、市民がもっと暮らしやすくなること、そしてそれを支える財政基盤としての市の収入（税金）を増やすことの2点であると明確に定義することを提案します。</p> <p>行政のデジタル化は、市民の利便性を高め、地域経済を活発にして税金を上げるためのエンジンであるべきです。</p>	<p>今後、本計画を実行する過程で得られる成果を評価しながら、市民生活の利便向上や経済活性化など幅広い視点を盛り込んでいくとともに、いただいたご提案も適切に反映できるよう努めていきます。</p>
2	C	<p>主要施策（1）市民サービスの向上（フロントヤード改革） について</p> <p>もっと気軽に、多世代が市政に参加できる仕組みを提案します。</p> <p>一言から言える窓口：市役所のホームページ、LINE、SNS、あるいは紙の書類であっても、小学生からお年寄りまでが一言から気軽につぶやける窓口を作ってください。</p> <p>AIによる集計と結果の公表：寄せられた意見はAIを使って整理し、市がどう動いたかをインターネット等でしっかりと見える化してください。自分の声で街が変わったという実感が、市民の満足度と信頼に直結します。</p>	<p>市民サービスの向上に向け、より気軽に市政へ参加できる仕組みについてなど、いただいたご提案については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、ホームページ、LINE等での情報発信の強化についても推進します。</p>

No	区分	いただいた意見	意見に対する市の考え方
3	C	<p>主要施策(2)地域の活性化(地域DX・教育)について</p> <p>現在の教育システムが変化するのを待つのではなく、スピード感を持った学びの場を提案します。</p> <p>多世代が学べる講習会：小学生からシニア、地元の経営者までが参加できる講習会を今すぐ始めてください。世代を混ぜた交流型でも、世代別の集中講座でも、状況に合わせて柔軟に開催してください。</p> <p>おしゃべりからビジネス活用まで：AIとおしゃべりを楽しむ初心者レベルから、仕事や勉強に役立つ実践レベルまで、段階に応じた内容にすることで、誰一人取り残さず全体の底上げを図ってください。</p> <p>地域経済の防衛：地元の会社がAIを使いこなして元気になれば、市の税収増に直結します。市と商工会などが連携し、具体的なサポートを早急に開始してください。</p>	<p>地域の活性化(地域DX・教育)について、スピード感を持った学びの場をはじめとしたご提案について、誰一人取り残さないよう、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができることにより、「誰ひとり取り残さない人に優しいデジタル化」の実現に努めます。</p> <p>いただいたご意見は参考とさせていただきます、商工会議所など多様な主体との連携も含め、今後の施策の展開において進めていきます。</p>
4	C	<p>デジタル人材の育成について</p> <p>職員個人のスキルアップを待つのではなく、最新の道具(AI)を活用することで、組織全体の仕事のレベルを底上げする仕組みを整えてください。</p> <p>道具による能力の底上げ：タイピングや文章作成が苦手な職員がいても、音声入力やAI校正などの道具を使いこなせば、誰でもプロ級の仕事が今すぐ可能です。</p> <p>できないを道具で解決する：研修を重ねる時間も大切ですが、まずは手元にあるAIなどの便利な武器を全職員に持たせ、今日からでも民間に劣らない速度と品質で業務を遂行できる体制を構築してください。</p> <p>これこそが、無駄なコストを抑え、市民のための税金を有効に使うことに繋がります。</p>	<p>本計画を推進するに当たっては、デジタル人材の育成は重要な事項となることから、いただいたご意見を参考に、状況に応じて有効な職員の研修等を行います。</p>